

第1回南部・東部地区エリア ネットワーク研修会を開催!



塩竈市の目指す「いつまでも自分らしくいきいきと暮らせるまち」を実現するためには、地域包括ケアシステムの構築が必要不可欠です。

南部・東部地区地域包括支援センターでは、システム構築における関係機関との連携強化を目的とし、定期的に研修会を開催しています。



令和3年12月9日(木)に令和3年度第1回塩竈市南部・東部地区エリアネットワーク研修会を開催しました。

このエリアネットワーク研修会は、平成30年度から年度内3回程度実施。昨年は新型コロナウイルス感染症流行に伴い、やむを得ず休止しており、今回久しぶりに開催することができました。当日はお忙しい中、介護保険事業所、障がい支援事業所、医療機関、薬局、行政機関の方々、計25事業所、40名以上の方々にご参加いただきました。ありがとうございました。

基調講話では、仙台白百合女子大学准教授志水田鶴子先生より、「地域の顔のみえる関係づくりに大切なことを考えよう」というテーマでお話いただきました。地域包括ケアにおける地域支援の在り方を中心に、自らの強みを十分に発揮するためには支援者自身や事業所を適切にアセスメントすることが大切など、日々の実践に即したヒントもたくさんお話しいただきました。

今回は、令和4年3月頃開催予定で準備を進めております。詳細が決まり次第ご連絡させていただきます。(新型コロナウイルス感染動向で変更・中止も)

ほっこり
つながり新聞

号 外

塩竈市南部・東部地区
地域包括支援センター
塩竈市東玉川8番8号
あべ歯科ビル1階
TEL:022-290-7185
FAX:022-290-7186



参加者からの 事業所の特徴や活動の紹介

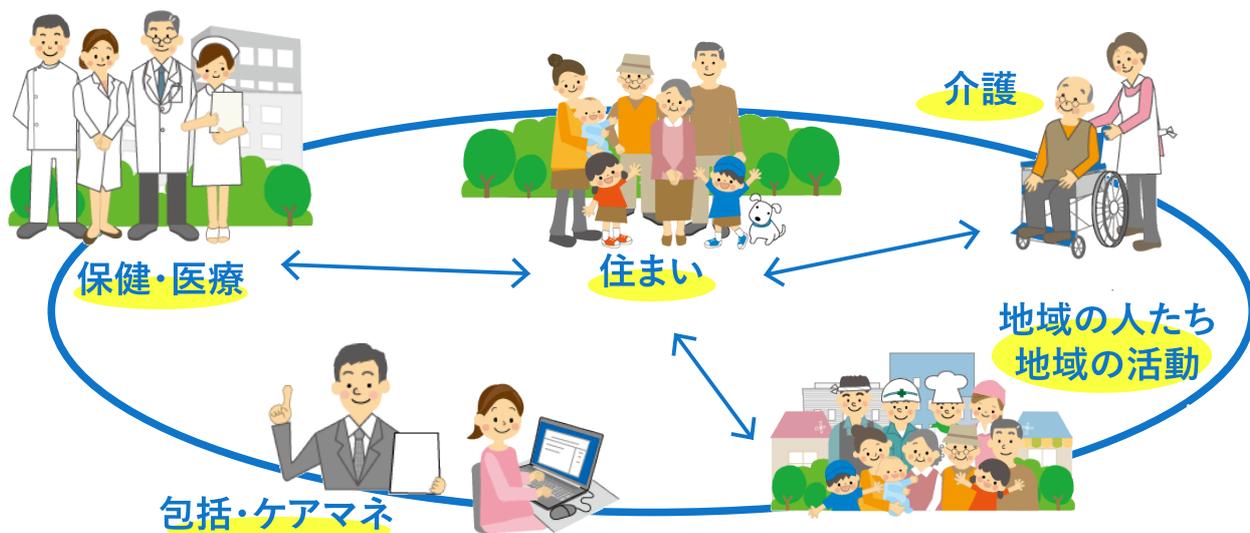
参加いただいた全事業所の方から、事業所の概要や、事業所の特徴等職域の紹介、職種、想いをそれぞれお話いただきました。

名刺交換・交流タイム!

会終了後には、皆さん積極的に参加された方同士で、名刺交換や、事業所のパンフレットを配布等行い、交流を深めていただきました。



住み慣れた塩竈市で、安心して自分らしく充実した暮らしができるように…
地域の顔のみえる関係づくりや、医療・介護等の連携を強化し、
地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの深化・推進を目指していきます!



編集後記

ネットワークの構築は、一つひとつのケースの積み重ねにより深まるものですが、今回のような機会、地域の関係機関が一堂に介する事で「顔のみえる関係づくり」のきっかけとなったのではないかと思います。

また、このつながり新聞は地域住民、地縁組織の方向けに発行していましたが、この度は、専門職種・機関の方を対象として発行いたしました。

今後ともどうぞよろしく願っています。



塩竈市南部・東部地区
地域包括支援センター
所長 小野憲幸